

自由業大学生のための資格業ガイダンス（愛知大学）レポート

令和6年11月26日（火）午後0時30分から午後3時に愛知大学名古屋キャンパス講義棟2階学生ホールにおいて名古屋自由業団体連絡協議会が集まり大学生への啓発活動が実施され、土地家屋調査士ブースでは広報部役員3名で対応しました。



結論から申し上げますと、土地家屋調査士ブースに来てくださった学生は2名でした。1人は4年生の女性で、主な質問内容は「土地家屋調査士の資格を取得して開業するにあたり、仕事はどのようにして獲得していったらいいのか？」でした。この学生は土地家屋調査士になりたくてブースに来たのではなく、開業を目指す際に一番自分に合っている土業はどれがいいのかを悩んでいて、各土業のブースを周って話を聞きに来たということでした。土地家屋調査士はネット検索で知ったそうです。

もう1人は2年生で、「現時点では公認会計士を目指したいと思っているが、将来のために他の資格取得も考えて悩んでいる。」とのことでした。当然のことですが、2人とも将来について真剣に悩み考えている学生さんでしたが、我々土地家屋調査士としての将来性などを丁寧に説明し、理解していただきました。

今回の資格業ガイダンスに参加して感じたのは、意外と土業に興味を持つ学生が少ないことでした。愛知県土地家屋調査士会として「土地家屋調査士」の知名度・認知度を多角的に向上させていく広報活動をしていかないといけないと感じました。

（広報部部員 三宅 友広）

